

アネスト岩田株式会社 2024年3月期3Q 決算補足説明資料

2024年2月9日

東証プライム市場 機械

証券コード6381

中国SCR社筆頭にエアエナジー事業の海外売上が全体を牽引。継続した展示会出展によりコスト増加も、2Qハノーバー(ドイツ)展示会出展効果はSCR社の欧州向け輸出拡大として寄与。コーティング事業では、中国での需要縮小も欧州及び日本の塗装機器の売上堅調により下支え

※SCR社:上海斯可絡圧縮機有限公司

売上高	38,970		(百万円)
	エアエナジー 24,653 (63.3%)	コーティング 14,316 (36.7%)	
営業利益	4,494		
	エアエナジー 2,544 (56.6%)	コーティング 1,950 (43.4%)	

単位 (百万円)	エアエナジー事業			コーティング事業		
	2024年3月期3Q	前年同期比		2024年3月期3Q	前年同期比	
	実績	増減	増減率(%)	実績	増減	増減率(%)
売上高	24,653	+3,189	+14.9	14,316	+948	+7.1
営業利益	2,544	+151	+6.3	1,950	+228	+13.3
営業利益率(%)	10.3	-0.8pts	—	13.6	+0.7pts	—

- 中国ではSCR社※の輸出販売が引き続き好調に推移。米州の車両搭載向け圧縮機の売上も好調
- 中国ではリチウムイオン電池製造向け真空ポンプの売上が堅調も一服の兆し。アメリカでは納期面での切り替え需要や年度末に向けた設備投資意欲の増加に応え、売上が伸長

- 欧州市況弱含みも、スプレーガン販売は堅調維持。一方で中国においては需要回復が遅延
- 中国では引き続き設備投資意欲に弱さが見られ塗装設備の受注及び売上減少も、インドにおける受注残高は増加

(注)1.事業別営業利益は当社グループ独自の基準により算定

2.当社及び日本とインドの連結子会社の決算日は3月末、その他の連結子会社は12月末であり、連結財務諸表の作成にあたっては3か月の期ズレが発生

圧縮機販売が全体の売上を牽引。営業利益面では、値上げ効果による原価率改善があった一方で、売上拡大に向けた投資継続やリスク管理強化に伴うコストが増加により利益を圧迫。そのほか、アメリカ関連会社の車両搭載向け圧縮機の販売好調に伴う持分法投資利益や為替差益の増加などにより経常利益及び純利益が増益

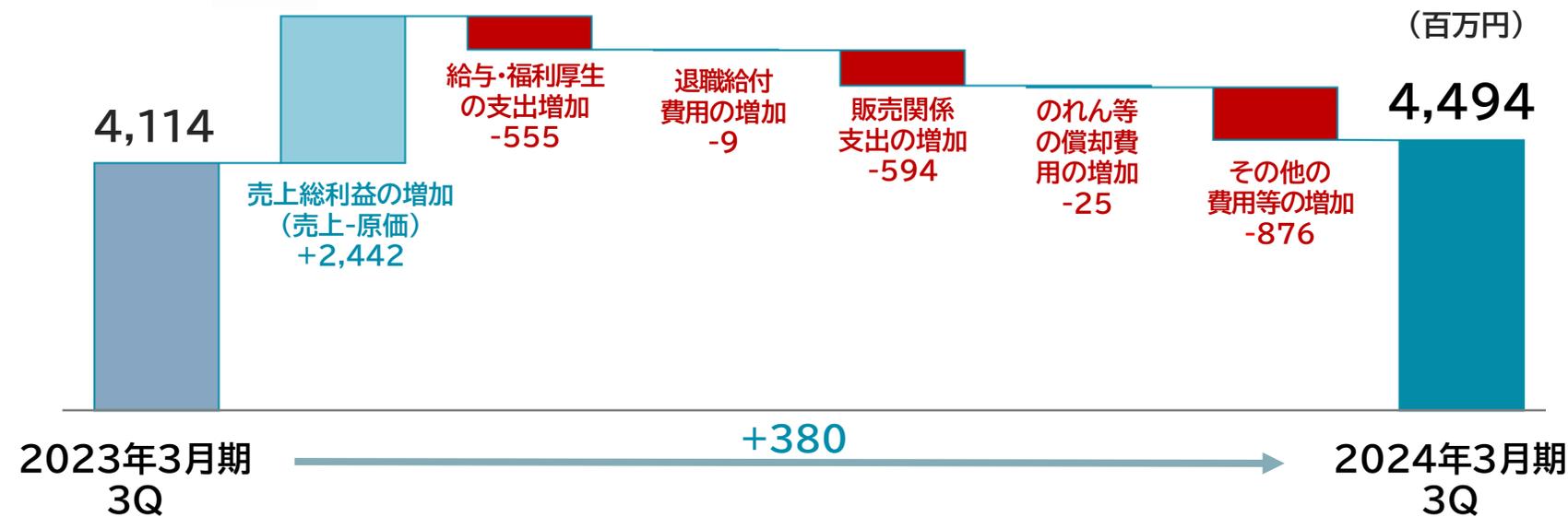
■ 売上高における為替の影響は+1,165百万円

	2023年3月期 3Q		2024年3月期 3Q		前年同期比			2024年3月期 業績予想 (2023年11月9日発表)	
	実績 (百万円)	利益率 (%)	実績 (百万円)	利益率 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	利益率 変化 (pts)	予想値 (百万円)	進捗率 (%)
売上高	34,832	—	38,970	—	+4,137	+11.9	34,832	52,900	73.7
営業利益	4,114	11.8	4,494	11.5	+380	+9.2	4,114	6,100	73.7
経常利益	4,852	13.9	5,856	15.0	+1,003	+20.7	4,852	7,700	76.1
親会社株主 帰属純利益	3,069	8.8	3,635	9.3	+565	+18.4	3,069	4,600	79.0
平均為替レート 円/米ドル	128.05 円		138.11 円		10.06 円 円安			138.00 円	
平均為替レート 円/ユーロ	135.95 円		149.62 円		13.67 円 円安			149.00 円	
平均為替レート 円/人民元	19.35 円		19.61 円		0.26 円 円安			19.60 円	

【為替の感応度について】営業利益ベースによる傾向値(下記にて通貨割合は反映されておられません)

1円の円安にて、米ドル:10百万円/年、ユーロ:10百万円/年、人民元:30百万円/年、それぞれ増加

販売管理費率は上昇も、売上増加や値上げ効果による売上原価率の低下に伴い、増益で着地



	2023年3月期3Q		2024年3月期3Q	
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)
売上高	34,832	—	38,970	—
売上原価	19,657	56.4	21,353	54.8
販売管理費	11,060	31.8	13,122	33.7

[+] 原価率の低下：54.8% (前年同期比 -1.6pts)

- ・塗装設備の原価率は2Qに引き続き低い水準を維持
- ・国内外の値上げ効果(国内は2023/10月塗装機器・部品、2024/1月圧縮機)や中国SCR社の輸出販売比率増加による原価率の改善

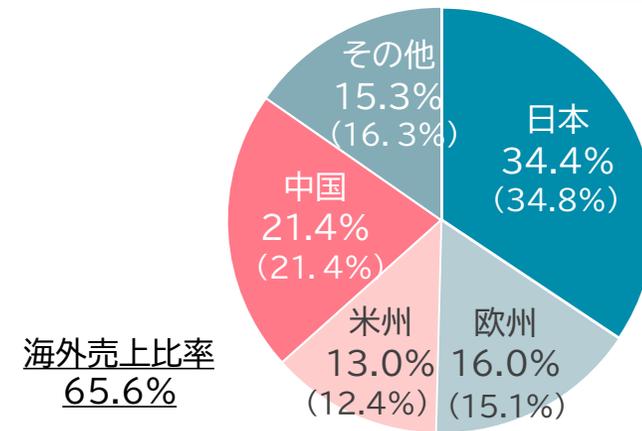
[-] 販売管理費比率の上昇：33.7%(前年同期比 +1.9pts)

- ・欧米をはじめとする人件費の高騰
- ・海外の展示会出展(P10参照)に伴う広告宣伝費や旅費交通費など、売上拡大を目的とした営業活動関連費用が増加
- ・中国における貸倒引当金繰入額の前年度累計比較で増加
- ・システム設計費用のほか、新規事業開拓やM&A検討など中期的な業績拡大に向けた施策の継続に伴う支払手数料の増加

【セグメント区分】米州:アメリカ、メキシコ、ブラジル、その他:中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ
 前年同期比:◎ 10%~ ○ 3%~10% △ 0%~3% ▽ 0%~-3% ● -3%~10% × -10%~

連結売上高 (百万円)	2023年 3月期3Q	2024年 3月期3Q	前年同期比		エアエナジー事業		コーティング事業	
			増減額	増減率(%)	圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	12,109	13,400	+1,291	+10.7	○	○	○	◎
欧州	5,272	6,241	+969	+18.4	◎	◎	◎	-
米州	4,318	5,046	+728	+16.9	◎	◎	○	◎
中国	7,441	8,321	+880	+11.8	◎	◎	●	×
その他	5,690	5,959	+269	+4.7	○	◎	△	×
合計	34,832	38,970	+4,138	+11.9	◎	◎	○	◎

■ 構成比
 2024年3月期3Q
 (2023年3月期3Q)



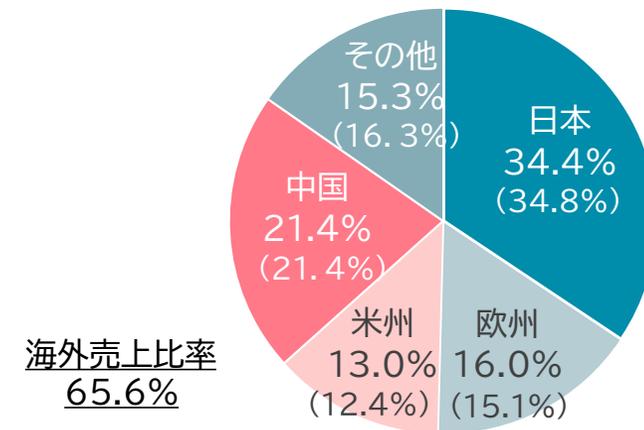
輸出を中心とした中国SCR社の売上好調をはじめとして、圧縮機販売は全セグメントで売上が伸長。真空機器は、市況やニーズを捉えた販売によって日米を中心に売上が伸長

- 日本** ■ 圧縮機では、納期対応の適正化による需要拡大のほか、デンタル市場向けオイルフリー式圧縮機の販売好調により売上伸長。真空機器では、半導体製造関連装置向けの売上が堅調に推移しており伸長
- 欧州** ■ 圧縮機において、生産能力の強みを生かしたスクロール式圧縮機のOEM事業において供給先の需要継続により売上伸長。真空機器では、顧客開拓が進展したことで売上伸長
- 米州** ■ 圧縮機では、引き続きブラジル及びアメリカの車両搭載向けを主として売上好調。真空機器では、納期面での優位性による他社製品からの切り替え需要継続や年度末に向けた設備投資意欲の増加に応えたことで売上伸長
- 中国** ■ 圧縮機では、国内販売は引き続き苦戦も、ハノーバー展示会出展への投資奏功もありSCR社の輸出は好調に推移したことで売上伸長。真空機器では、リチウムイオン電池製造市場向けの売上堅調も一服の兆し
- その他** ■ 圧縮機では、景況感を背景としたインドの需要拡大により売上伸長。そのほか、東南アジアにおける現地子会社の営業力強化施策の実施を推進。真空機器では、東アジアでの需要拡大により売上伸長

【セグメント区分】米州:アメリカ、メキシコ、ブラジル、その他:中国を除くアジア、オーストラリア、南アフリカ
 前年同期比:◎ 10%~ ○ 3%~10% △ 0%~3% ▽ 0%~-3% ● -3%~10% × -10%~

連結売上高 (百万円)	2023年 3月期3Q	2024年 3月期3Q	前年同期比		エアエナジー事業		コーティング事業	
			増減額	増減率(%)	圧縮機	真空機器	塗装機器	塗装設備
日本	12,109	13,400	+1,291	+10.7	○	○	○	◎
欧州	5,272	6,241	+969	+18.4	◎	◎	◎	-
米州	4,318	5,046	+728	+16.9	◎	◎	○	◎
中国	7,441	8,321	+880	+11.8	◎	◎	●	×
その他	5,690	5,959	+269	+4.7	○	◎	△	×
合計	34,832	38,970	+4,138	+11.9	◎	◎	○	◎

■ 構成比
 2024年3月期3Q
 (2023年3月期3Q)



塗装機器及び設備における中国での需要縮小も、日欧での塗装機器販売が堅調に推移したことで売上を下支え

- 日本** ■ 塗装機器では、ハンドスプレーガンの一部機種の販売終了に伴う影響があったものの、環境装置における物件管理の徹底により売上伸長。塗装設備は売上伸長も、受注残高が減少傾向
- 欧州** ■ 塗装機器では、欧州経済の景況感が弱含みも自動車補修市場向けを主としたスプレーガンの販売は堅調に推移し、売上伸長。スプレーガン先行市場である欧州で獲得した塗料メーカ各社からの推奨をもとに、米州、アジアなど世界各地へ展開
- 米州** ■ 塗装機器では、工業塗装市場の開拓を進めており、木工市場向けスプレーガンを主として売上伸長。欧州で先行販売の新型スプレーガンは評価良好も、本格的な拡販は来期より開始予定
- 中国** ■ 塗装機器では、中国市況の影響などに伴う需要の回復遅れにより売上減少。塗装設備では、企業の設備投資意欲の冷え込み継続による受注減により売上減少
- その他** ■ 塗装機器では、インドにおけるスプレーガン及び東南アジアの塗料供給機器を中心に売上伸長。塗装設備では、前年度に納入した案件の反動により売上減少も、インドを主として受注残高は増加傾向

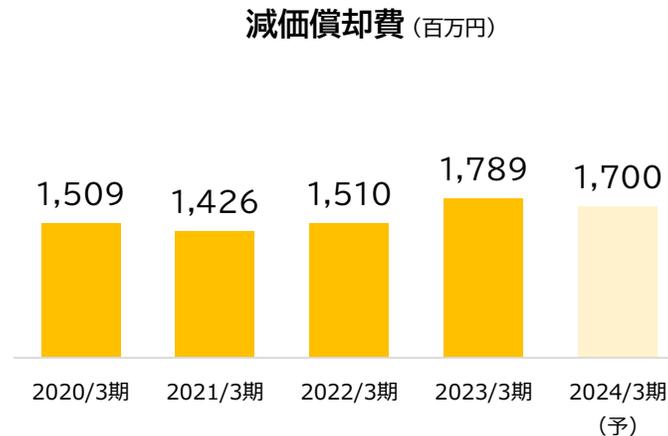
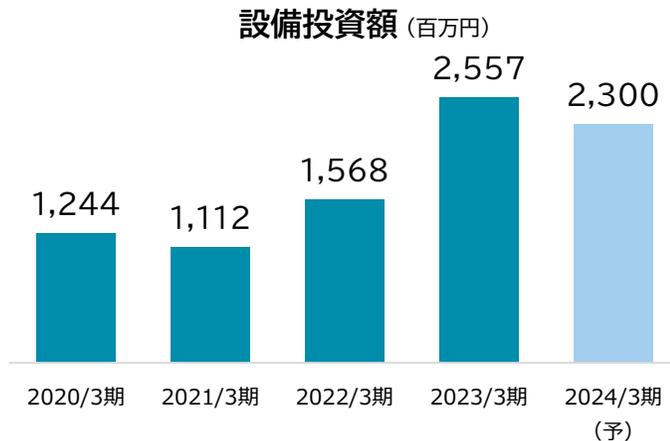
- ・ 資 産 : 販売拡大により現預金等を含む流動資産が増加
- ・ 純 資 産 : 業績伸長や為替の影響を受けて増加

		2023年3月期 通期期末	2024年3月期 3Q	対前期末差異		
		実績 (百万円)	実績 (百万円)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	主な増減要因
資産	流動資産	36,773	40,069	+3,296	+9.0	・「現金及び預金」の増加 +2,223百万円 ・「受取手形及び売掛金」の増加 +812百万円 ・「原材料及び貯蔵品」の増加 +689百万円
	固定資産	23,363	24,908	+1,545	+6.6	・「投資有価証券」の増加 +496百万円
	資産	60,136	64,978	+4,841	+8.1	
負債及び 資本	流動負債	11,719	11,765	+45	+0.4	・「支払手形及び買掛金」の増加 +497百万円
	固定負債	3,161	3,324	+163	+5.2	・「リース債務(固定)」の増加 +161百万円
	負債	14,881	15,089	+208	+1.4	
	株主資本	37,466	39,333	+1,867	+5.0	・「利益剰余金」の増加 +1,847百万円
	その他の包括利益 累計額	2,558	4,554	+1,995	+78.0	・「為替換算調整勘定」の増加 +1,740百万円
	非支配株主持分	5,229	6,000	+770	+14.7	
	純資産	45,255	49,888	+4,633	+10.2	
負債・純資産	60,136	64,978	+4,841	+8.1		

<設備投資> 2Qに続き、日本の圧縮機・補器及びスプレーガンの生産能力増強に向けた設備投資など概ね計画通りに推進中

(百万円)	2024年3月期3Q 実績		
	設備投資額	減価償却費	研究開発費*
実績	1,861	1,452	1,102
計画	2,300	1,700	1,450
進捗率(%)	81.0	85.4	76.0
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・生産ラインの更新・増強 ・各種工作機械等(新設・更新) ・IT関連投資(PLM導入、他) 		

(注)研究開発費:研究開発に係る一般管理と製造経費の合計値



中国の回復状況及び主に日本の下期の汎用製品に関する受注見通しなどを考慮して、直近に発表した業績予想からの修正はなし

		2023年3月期(実績)	
		実績 (百万円)	構成比 (%)
売上高		48,515	100.0
エアエナジー	圧縮機	26,983	55.6
	真空機器	2,366	4.9
	小計	29,349	60.5
コーティング	塗装機器	16,512	34.0
	塗装設備	2,652	5.5
	小計	19,165	39.5
営業利益		5,838	12.0
エアエナジー		3,269	—
コーティング		2,569	—
経常利益		7,043	14.5
親会社帰属当期純利益		4,381	9.0
平均為替レート 円/米ドル		131.43	(実績)
平均為替レート 円/ユーロ		138.04	
平均為替レート 円/人民元		19.48	
配当: 中間+期末=年間		16円 + 22円 = 38円	

2024年3月期(予定)				
期初予想 (5月9日発表)	修正後予想目標値 (11月9日発表)	構成比 (%)	対期初 計画比(%)	前年比 (%)
51,800	52,900	—	+2.1	+9.0
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
31,300	32,500	61.4	+3.8	+10.7
—	—	—	—	—
—	—	—	—	—
20,500	20,400	38.6	-0.5	+6.4
6,100	6,100	11.5	0	+4.5
3,380	3,380	—	0	+3.4
2,720	2,720	—	0	+5.9
7,100	7,700	14.6	+8.5	+9.3
4,407	4,600	8.7	+4.4	+5.0
136.00	138.00	(想定)	2.00円 円安 7.00円 円安 0.45円 円安	6.57円 円安 10.96円 円安 0.12円 円安
142.00	149.00			
19.15	19.60			
22円 + 23円 = 45円				

- ・東欧の紛争を始めとする地政学的リスクや各国の金融政策などから、外部環境の想定は依然として困難な状況
- ・今後の状況を精査する必要があるが、各国における値上の浸透や業務改革を継続し、収益力を高めることで増収増益を目指す。今中計、及び以降への成長に向けて、新規事業等、業績拡大施策のための準備費用を継続

前提条件

売上高 52,900百万円(前年同期比+9.0%)

- エネルギー・資源価格や物流コストは高騰も、原材料価格や部材の仕入れ価格については現状維持
- 半導体や電子部品の供給状態については現状維持
- 為替水準は2Qの基調が継続
- 国内外を問わず塗装設備の着実な受注及び納入
- 全世界共通で、汎用及び特定市場向け圧縮機の需要が継続

営業利益 6,100百万円(前年同期比+4.5%)

- 国内外での必要に応じた値上及びその効果の継続
- 営業改革や業務効率の改善を継続
- 新規事業に対する投資費用の増加

国際展示会への出展

販路拡大やニーズを捉えた開発の促進につなげるため、一定の効果が見込める展示会には積極的な出展を推進

3Qにおける出展実績の一例

■ AWFS 2023 - Woodworking & Furnishings Suppliers Fair

<コーティング>

会期: 2023年7月25日~28日

会場: アメリカ

開催頻度: 2年に1度

対象品目: 木工品製造関連製品・サービス

目的: 木工塗装分野における知名度向上



■ ASEAN SUSTAINABLE ENERGY WEEK 2023

<エアエナジー>

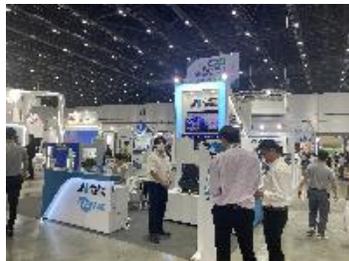
会期: 2023年8月30日~9月1日

会場: タイ

来場者数: 2.5万人以上

対象品目: 公害防止技術・機器、公害除去システム、環境保護技術
(EV展示会が同時開催)

目的: 省エネ需要に対する当社製品のPR
ローカルユーザとの関係構築



福島工場見学会の実施

エアエナジー製品生産のマザー工場である福島工場に機関投資家の皆様に招待し、説明を実施

見学会概要

工場長が中心となり、概要説明や敷地案内及び質疑応答を実施

実施日: 2023年10月13日

会場: 福島県西白河郡矢吹町(福島第1工場)

生産品目: 圧縮機、真空機器及び関連機器

参加者: 11名



福島第1工場 外観

ご好評につき、来年度は塗装機器製造のマザー工場である秋田工場での見学会を実施予定

- ・営業利益:日本の値上げ効果等により売上原価率は低下(前年同期比-1.6pts)も販売管理費率は上昇(+1.9pts)
- ・経常利益:営業外収益にてアメリカにおける持分法投資利益が増加(同+265百万円)、為替差益も増加(同+270百万円)

	2023年3月期 3Q		2024年3月期 3Q		前年同期比		
	実績 (百万円)	構成比 (%)	実績 (百万円)	構成比 (%)	増減額 (百万円)	増減率 (%)	構成比率変化 (pts)
売上高	34,832	—	38,970	—	+4,137	+11.9	—
売上原価	19,657	56.4	21,353	54.8	+1,695	+8.6	-1.6
売上総利益	15,174	43.6	17,617	45.2	+2,442	+16.1	+1.6
販売管理費	11,060	31.8	13,122	33.7	+2,062	+18.6	+1.9
営業利益	4,114	11.8	4,494	11.5	+380	+9.2	-0.3
営業外収益	798	2.3	1,437	3.7	+638	+79.9	+1.4
営業外費用	60	0.2	75	0.2	+15	+25.2	+0.0
経常利益	4,852	13.9	5,856	15.0	+1,003	+20.7	+1.1
特別利益	61	0.2	24	0.1	-37	-60.4	-0.1
特別損失	6	0.0	12	0.0	+6	+110.4	+0.0
税金等調整前純利益	4,908	14.1	5,867	15.1	+959	+19.6	+1.0
法人税等	1,214	3.5	1,460	3.7	+245	+20.2	+0.3
非支配株主帰属純利益	624	1.8	772	2.0	+148	+23.7	+0.2
親会社株主帰属純利益	3,069	8.8	3,635	9.3	+565	+18.4	+0.5

<参考情報> 2024年3月期 業積推移

【累計】

単位:百万円		2024年3月期			
		1Q	1~2Q	1~3Q	1~4Q
売上高		12,175	25,898	38,970	
前年同期比		+21.8%	+14.5%	+11.9%	
エアエナジー	圧縮機	6,798	14,522	22,438	
	前年同期比	+21.7%	+15.4%	+13.8%	
	真空機器	745	1,445	2,215	
	前年同期比	+43.9%	+29.6%	+26.5%	
	売上高	7,543	15,967	24,653	
前年同期比	+23.6%	+16.5%	+14.9%		
コーティング	塗装機器	4,281	8,755	12,905	
	前年同期比	+14.9%	+8.7%	+6.1%	
	塗装設備	350	1,175	1,411	
	前年同期比	+105.1%	+37.2%	+16.6%	
	売上高	4,632	9,930	14,316	
前年同期比	+18.9%	+11.4%	+7.1%		
営業利益		1,269	2,866	4,494	
前年同期比		+54.7%	+22.5%	+9.2%	
エアエナジー	営業利益	626	1,413	2,544	
	前年同期比	+24.0%	+6.2%	+6.3%	
コーティング	営業利益	643	1,452	1,950	
	前年同期比	+104.0%	+43.9%	+13.3%	

【3か月ごと】

単位:百万円		2024年3月期			
		1Q	2Q	3Q	4Q
売上高		12,175	13,722	13,072	
前年同期比		+21.8%	+8.8%	+7.0%	
エアエナジー	圧縮機	6,798	7,724	7,915	
	前年同期比	+21.7%	+10.3%	+11.1%	
	真空機器	745	699	770	
	前年同期比	+43.9%	+17.2%	+21.1%	
	売上高	7,543	8,424	8,686	
前年同期比	+23.6%	+10.8%	+11.9%		
コーティング	塗装機器	4,281	4,473	4,149	
	前年同期比	+14.9%	+3.3%	+1.2%	
	塗装設備	350	824	236	
	前年同期比	+105.1%	+20.3%	-33.3%	
	売上高	4,632	5,297	4,386	
前年同期比	+18.9%	+5.7%	-1.6%		
営業利益		1,269	1,596	1,628	
前年同期比		+54.7%	+5.0%	-8.2%	
エアエナジー	営業利益	626	787	1,130	
	前年同期比	+24.0%	-4.6%	+6.4%	
コーティング	営業利益	643	808	497	
	前年同期比	+104.0%	+16.6%	-30.0%	

塗装用スプレーガンとそれを検査するコンプレッサの製造から出発

1926年創業
(旧社名:岩田製作所)

米国社製を手本に
スプレーガンの製造を開始

スプレーガン

塗装用ハンドガン

圧縮空気で
塗料を霧状に

空気圧縮機

コンプレッサ

スプレーガンの検査用
圧縮機として製造開始

製品の差別化を
可能にしたコンセプト

- ・環境対応
- ・塗面作成の提案力

- ・オイルフリー化
- ・省エネ性

製品の多様化
用途の開拓



塗装ロボット



エアブラシ



オイルフリー
スクロール型
真空ポンプ



オイルフリー
スクロール型
圧縮機

コーティング事業

塗装機器

スプレーガン、塗料供給
ポンプなどの機器単体

塗装設備

塗装機器と換気や乾燥装
置、塗装ロボットなどを
組み合わせたシステム

エアエナジー事業

圧縮機

空気圧縮機、N2ガス発生装置、
タンクなどの補器類

真空機器

真空ポンプ、バルブなどの
補器類

将来見通しに関する記述及びその他の注意事項

本資料で述べられております当社の将来に関する見通しは、現時点で知りうる情報をもとに作成されたものです。

世界経済、為替レートの変動、業界の市況、設備投資の動向など、当社業績に影響を与えるさまざまな外部要因がありますので、資料に記載の内容とは異なる可能性があることをご承知おきください。

また、資料は投資家の皆様への情報伝達を目的としており、当社の株式、その他の有価証券等の売買等を勧誘又は推奨するものではありません。

お問い合わせ先: アネスト岩田株式会社
経営企画部 IR・コーポレートコミュニケーション室
TEL: 045-591-9344
E-mail: ir_koho@anest-iwata.co.jp
URL : <https://www.anestiwata-corp.com/jp>